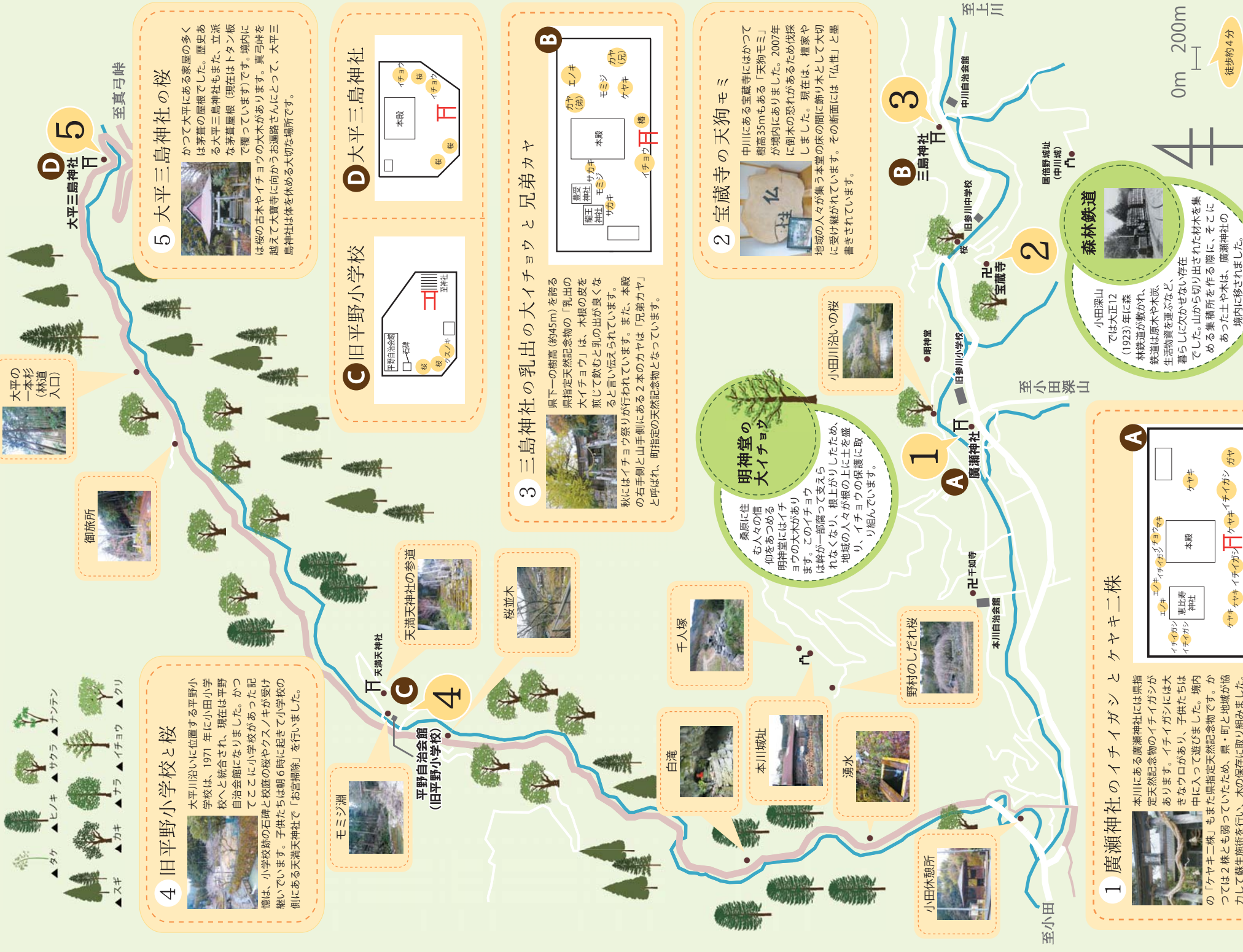


木々と歩く平野 本川 中川の道

— : 遍路道



4 旧平野小学校と桜



大平川沿いに位置する平野小学校は、1971年に小田小学校へと統合され、現在は平野自治会館になりました。かつてここに小学校があった記号は、小学校跡の石碑と校庭の桜やクスノキが受け継いでいます。子供たちは朝6時に起きて小学校の側にある天満天神社で「お宮参り」を行いました。



モミジ淵



天満天神社の参道



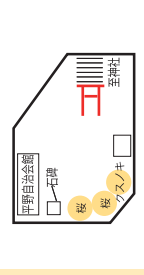
桜並木

5 大平三島神社の桜

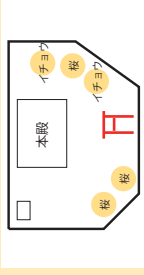


かつて大平にある家屋の多くは茅葺の屋根でした。歴史ある大平三島神社もまた、立派な茅葺屋根（現在はトタン板で覆っています）です。境内には桜の古木やイチョウの大木があります。真弓峠を越えて大寶寺に向かうお遍路さんにとって、大平三島神社は体を休める大切な場所です。

C 旧平野小学校



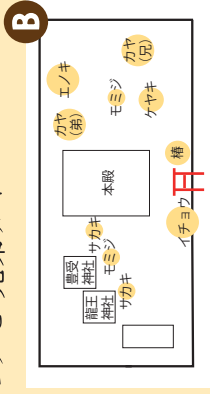
D 大平三島神社



3 三島神社の乳出の大イチョウと兄弟カヤ



県下の樹高(約45m)を誇る県指定天然記念物の「乳出の大イチョウ」は、木根の皮を煎じて飲むと乳の出が良くなると言い伝えられています。秋にはイチョウ祭りが行われています。また、本殿の右手側と山手側にある2本のカヤは「兄弟カヤ」と呼ばれ、町指定の天然記念物となっています。



明神堂の大イチョウ

桑原に住む人々の信仰をあつめる明神堂にはイチョウの大木があります。このイチョウは幹の一部腐って支えられなくなり、根上がりしたため、地域の人々が根の上に土を盛り、イチョウの保護に取組んでいます。



小田川沿いの桜

2 宝蔵寺の天狗モミ

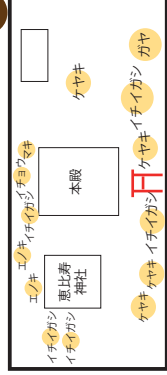


中川にある宝蔵寺にはかつて樹高35mもある「天狗モミ」が境内にありました。2007年に倒木の恐れがあるため伐採しました。現在は、檀家や地域の人々が本堂の床の間に飾り木として大切に受け継がれています。その断面には「仏性」と墨書されています。

1 廣瀬神社のイチイガシとケヤキ二株



本川にある廣瀬神社には県指定天然記念物のイチイガシがあります。イチイガシには大きなウロがあり、子供たちは中に入って遊びました。境内の「ケヤキ二株」もまた県指定天然記念物です。かつては2株とも弱っていたため、県・町と地域が協力して蘇生施術を行い、木の保存に取り組みました。



森林鉄道



小田深山では大正12(1923)年に森林鉄道が敷かれ、鉄道は原木や木炭、生活物資を運ぶなど、でした。山から切り出された材木を集める集積所を作る際に、そこにあった土や木は、廣瀬神社の境内に移されました。

0m 200m

徒歩約4分